

2013年度 学校評価報告書 (京都聖母学院幼稚園)

学校目標 (園目標)	自分で考え、決めて、行動できる力を身につけることを通して 自分を大切にできる子どもを育成する
---------------	---

重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・建学の精神の徹底と教育力の向上 ・入学者の安定的確保 ・環境の整備 ・一体感の醸成 ・財政の健全化
------	--

学 校 自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価	
年 度 目 標			年 度 評 価		学校関係者からの意見・要望・評価等	
番号	大目標	重点目標	具体的方策	取組の成果		
1	建学の精神の徹底と教育力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園が大好きな子どもを育てる ・建学の精神を浸透し、それに基づいた教育を行う ・保育力を向上させ、自信を持って保育する 	<ul style="list-style-type: none"> ・『学ぶ』『遊ぶ』カリキュラムのブラッシュアップ。 ・『祈る』のカリキュラムの整備。 ・図書教育について幼小で検討。 ・園で身につけるべき生活習慣について幼小で検討。 ・幼小連携の一貫として英語教育の再検討。 ・公開保育、園内・学内研修の実施。 ・内部進学特別優遇制度の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の『学ぶ』『遊ぶ』『祈る』のカリキュラムを見直し、エッセイズや表現遊びに関する研修を年3回実施し、共通理解をした。 ・建学の精神の唱和とともに『聴く』をテーマに研修を実施した。 ・朝の集会時、合同集会時に担任や管理職が神様の話をした。 ・小学校の協力のもと、図書館交流を実施(年長)した。 ・幼小連携の英語教育の体制を整え、2014年度から全学年『正課英語』の実施を決定した。 ・全担任が内部公開保育を実施した。 ・内部進学特別優遇制度を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育内容を充実させることに重点を置いてカリキュラムを作成・職員の研修を実施したが、様々な取り組みを増やす一方で子どもたちが自由に遊べる時間が少なくなってしまった。子どもも保育者ともに余裕を持った保育ができるよう保育内容・研修をさらに精査していく。また、年間の職員研修の回数を見直しながらも、定期的に管理職が各保育室をまわり、保育のアドバイスをしていけるようにする。 ・小学校との図書館交流により、子どもたちが本に触れる回数が増え、小学生と関わる時間が増えた。今後、幼稚園の図書室の充実を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カトリック校として自分や友だちを大切にしている教育が行われている。今後、もっと宗教教育に力を入れてほしい。 ・アクティブな活動や外遊びを増やしてほしい。 ・体験活動(餅つき・栽培)をより一層充実させてほしい。 ・英語教育を充実させてほしい。 ・お泊り保育の実施を検討してほしい。 ・年度の途中で担任が変わらないようにしてほしい。 ・ブログを楽しみにしている。更新回数や写真の掲載を増やして内容を充実してほしい。
2	入学者の安定的確保	<ul style="list-style-type: none"> ・入園者を安定的に確保する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブログの更新頻度の向上。 ・ブログ掲載写真の増大。 ・広報課と連携し、情報誌・広告などの掲載を再検討。 ・広報エリアの見直し。 ・掲示板の更新頻度の向上。 ・ノベルティグッズの充実。 ・地域子育て支援活動『せいぼであそぼ!』の充実。 ・在園児保護者への募集広報協力の呼びかけ。 ・両小学校との交流会・小学校図書館訪問。 ・教育支援センターカウンセラーによる園見学。 	<ul style="list-style-type: none"> ・週3回以上のブログ更新を心がけ、写真掲載も増やした。 ・おふいすパワーアップ掲載。(幼稚園紹介雑誌) ・本町通り掲示板のデザインを月1回更新した。 ・「せいぼであそぼ!」のチラシデザインを変更した。 ・広報エリアの重点を以下のエリアに絞った。京阪沿線(祇園四条～藤森)バスルート(東福寺コース・八条口コース)学院近辺 ・両小学校との交流会を実施(大阪1回・京都約月1回)した。 ・園見学時の情報交換や教員・保護者の教育相談を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブログの更新回数を増やすことで、保護者からは「子どもの様子がわかる」と好評だが、職員の負担も増えている。写真掲載、文章入力など、今後、よりスムーズに更新できるようなICTについての知識を深める。 ・広報エリアをバスルートに重点を置いたが、今年度、大きな成果が上がらなかった。より多くの方に周知してもらえよう、今後も力を注ぐ。 ・子育てに悩む保護者に、早い段階で教育相談を紹介できた。今後も支援センターとの連携を強化する。 	
3	環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・安心で安全な教育環境の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育室の水道・手洗いシンク、タンク交換。 ・エントランス正面出入口、屋根、廊下の塗装塗り替え。 ・お遊戯室の音響機器システム交換。 ・園児用椅子の新調。 ・バス駐車スペースの確保。 ・幼稚園バスの整備。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育室の洗面所が美しくなり、下水からのおいなどがなくなり清潔になった。 ・音響機器の修理を行い園児用の椅子を購入したことにより、保育活動がスムーズに行えるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの駐車スペース等は、園児数増加にあわせて今後検討していく。 	
4	一体感の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・聖母ファミリーの育成(職員間・保護者・他所属・同窓会・カトリック教会) ・子育て支援等を通じた社会貢献の実現(地域) 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に職員の親睦会を開催する。 ・両小学校との連携を保育内容に活かす。 ・七五三をはじめ宗教行事を通じてカトリック教会との関わりを持つ。 ・「せいぼであそぼ!」や子育て相談事業を通して、広く地域の方が足を運んでいただけるような活動を推進する。 ・保護者の求める魅力的な園だよりやクラスだよりを発行する。 ・「根っこを育てる会」を充実(年5回)させる。 ・幼・小・中高との連携のもとに、父親の会の組織化「イクメンの会」を行う。(年6回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・親睦会を不定期だが実施した。 ・伏見教会にて、七五三祝式を実施した。 ・「せいぼであそぼ!」の内容を充実させた。(体験型保育・体操・英語・表現遊びを実施) ・運動会などで、保護者の協力による「マリアンサポーターズ」を結成した。 ・園だよりを月2回、学年だよりを月1回発行した。 ・「根っこを育てる会」を年5回実施した。 ・「イクメンの会」を年6回実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親睦会では、他所属を含めて交流ができたが、行事前になると、定期的な開催が難しかった。開催時期や回数なども検討し、負担なく集まれるようにする。 ・「せいぼであそぼ!」は体験型の専門性のある取り組みが好評だった。今後、これらの活動を定着化させていく。また、参加者への手書きのお礼状も引き続き送付する。 ・職員と保護者が協力し、様々な集いを持つことができた。今後の運営の仕方をさらに工夫(回数・時間・場所等)し、より多くの方に賛同していただけるようにする。 	
5	財政の健全化	<ul style="list-style-type: none"> ・業務内容の精選 ・あらゆる分野での無駄の削減 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務内容の精査・分担化。 ・配布物の削減・在庫整理。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園務分掌による業務分担をすすめた。 ・配布物を減らし、在庫の削減を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事内容・園務分掌の見直しを行い業務負担を軽減していく。 ・引き続き在庫削減に努め、2014年度には在庫を10パーセント減らす。 	